

= 合唱と私 =

“うたがあるからみんながいるから”

神奈川県合唱連盟
顧問 吉田孝古麿

「うた」(音楽)との出会い、そして「みんな」(歌う仲間)との出会い。出会いほどうれしく、楽しいものではありません。合唱は出会いの宝庫ですから、いつまでも出会いの“輪”を拡げ、大切にしたいですね。

過去に、20年間余り、こどもの合唱の指導に携わっていた時、彼等のために数々の作曲や編曲もしてきました。指導を通して感じたことは、何といてもこどもの声はすばらしいということ——。心がすなおだから、明るいから、きっと、すなおな声、明るい声が生まれるのですね。大きな可能性を秘めたそんな声を聴くのが今でも大好きです。

後半の10年間は、月1回の指導でしたが、普通の大人の合唱団の汚れた?声や心を、「こども」との交流ですべてがきれいに洗われて、すっきり再生——。

今は、この月1回のカンフル剤がないのがとても残念です。だから、私にとって合唱の原点は今でも「こども」だと思っています。

20年近く努めた県連の副理事長時代から担当し

ていた「県ジュニア合唱祭」を始め、神奈川県主管で行われた「全日本ジュニア・フェスティバル」は、プレの「大集会」(1986年)、全日本50周年記念「第11回」(1997年)、そして今年の「第16回」(2002年)を通して、多くのこどもたちからのたくさんの“思い出”をもらいました。

県連理事長時代から12年間努めた「全日本ジュニア委員」を、今回を最後に降りましたが、「赤とんぼにのっかって」(大集会)、「そよ風はともだち」(2001~2年)の作曲作品2曲が、全員合唱として全国のこどもたちに元気に歌われた(あちこちで、今も歌われている)ことも、私にとって、しあわせいっぱいな“思い出”の宝物として残りました。

将来の合唱界を背負ってたっていく“こどもたち”のために、これからも何らかの形で「こどもの合唱」に関わっていきたいと考えています。

(合唱指揮者=よしだこうこまる)

主な内容

[I] 特集記事	1.合唱と私 ----- P1	2.川崎地区合唱活動 ---- P2
	3.川崎合唱連盟を訪ねて ----- P2	4.地域プロジェクトⅦ ---- P3
[II] 案内記事	1.ヴィサンフェスティバル ----- P3	2.メサイア演奏会 ---- P3
	3.アンサンブル・コンサート ----- P4	4.合唱講習会 ---- P4
	5.ジュニア合唱祭 ----- P4	
[III] 副理事長高橋賢次氏を偲ぶ … P5	大館 惲雄(逗子混声合唱団) 近藤 寛邦(旧県連理事)	
	歴代理事長(就任順) 関屋 晋 吉田孝古麿 伊集院俊光 桑原 妙子	
	横浜紅葉丘合唱団の方々	
[IV] 報告記事	1.平井副理事長兼事務局長就任挨拶 -- P9	2.合唱講習会 ---- P9
	3.全日本ジュニア合唱祭 ----- P9	4.合唱コンクール ---- P10
	5.おかあさん ----- P10	6.理事会 ---- P11
[V] コンサートガイド	----- P12	
[VI] 音楽ホール紹介	----- P15	
[VII] 編集後記	----- P16	

川崎市合唱連盟の活動紹介

川崎市合唱連盟副会長 田中実

1965年に設立された川崎市合唱連盟は、現在加盟団体42団体で、川崎の合唱活動の中心的な役割を担い、幅広く活動しています。年間の行事としては大きな行事が4つあります。

まず、毎年7月に開催される「川崎合唱まつり」は今年で第37回となり2日間で延べ62団体1500名の参加があり、川崎市の合唱の祭典としてまた合唱団の交流の場として重要な役割を果たしています。

次に、川崎市民の間に完全に根を下ろした「かわさき市民第九コンサート」です。現在は、市内在住在勤の方を対象とした一般公募で合唱団員を募り、ソリストについてもオーディションで決定し、オーケストラは市内にある四つのアマチュアオーケストラが持ち回りで担当するという全国でも余り例を見ない方式で運営されています。毎年12月の公演は、教育文化会館の大ホールが満員となり、大盛況を博しています。

2月に開催される「コーラルフェストかわさき」は当連盟に加盟している合唱団で行われる、連盟主催の

合唱祭です。今年で第12回となり、32団体800名の参加があり、色々な企画を（合唱祭なのにオーケストラを招いて合同で演奏したりもしています）取り入れ、楽しい合唱の一日を過ごしています。

最後に、今年の5月11日に教育文化会館大ホールで大成功裡に終了した「オーケストラと合唱の調べ」です。神奈川県唯一のプロのオーケストラ「神奈川フィルハーモニー」との共演です。この演奏会の為に合唱連盟加盟団体から有志を集い結成した「アニモ」も4回目となる今回の公演では、ブロードウェーミュージカル「キャッツ」でお馴染みの「アンドリュウ・ロイド・ウェッバー」の「レクイエム」という大曲に挑戦し、一回りも二回りも成長しました。

合唱連盟は合唱のみならず、川崎の文化の一翼も担う意気込みで活動しています。2年先には、JR川崎駅の西口に音楽専門の文化ホールも完成します。

そのオープニング企画に参加すべく、色々な企画を検討中の合唱連盟です。

川崎市合唱連盟を訪ねて

7月14日（日）多摩市民館大ホールで『第37回川崎合唱まつり』の開催中を訪問した。

事前に「最寄り駅は?」「登戸です」と聞き、自宅の地図で見ると駅から東方100mでした。

ところが現地は更地だった。地図は1995年制作で区役所がそっくり転居していました。幸いにも約1km南西に新しい多摩区役所と多摩市民館があった。（小田急向ヶ丘遊園駅より西に400m）

合唱まつりの本部を訪問し、色々お話を伺いました。会長は岡本徳彌さんで地元経済界の重鎮。副会長は田中実さん、副会長兼事務局長は高野映子さんです。主に高野さんにお話を伺いました。

音楽家を会長にせず組織されているのはユニークです。1980～90年代の長野県連もそうでした。

川崎市合唱連盟（以下市連）は川崎を中心に活動の42団体で構成されています。若い指揮者と若い団員の合唱団がいくつか有るのが特徴です。

主な行事は、4月に総会、6月神奈川フィルとの共演。今年はキャッツで有名な、A. L ウェッバーのレクイエムでした。市連の合唱団員で構成した『合唱団アニモ』が出演しました。筆者も会場にいて、あのジャズっぽいホザンナをよく歌われた、と感心しました。

地元開催を企画中の神戸のグループが来場していたと聞きました。

7月川崎合唱まつりは、市教育委員会との共催で、市連未加入団体も参加し、13～14日の両日で、62団体が出演しました。

12月には第10回目の市民第九コンサートがあり、ソリストはオーディションで決定し5回目です。

1960年代に川崎市の職場合唱団にいた筆者はこの前身の第九コンサートに出演していました。

2月には第13回コーラルフェストかわさきが開催されます（市連加盟団体による演奏会）。

9月と3月には会報誌発行です。毎回の巻頭記事は岡本会長の経済活動と趣味の音楽活動のエッセイ、ご本人は「売り上げ不振に喝を入れるのは簡単だが、会員に読んで貰う記事の執筆は大変です」と、次号は「スペインでスリに遭った」事を記載予定で、筆者もここ数年読んでるので、毎回楽しみにしています。県連カノンは行事が多く、年4回3ヶ月毎に、慌ただしく編集しています。

市連の会報誌は丁寧に作られているのが、良く判ります。刺激仕合いながら読みやすい情報誌を！

カノン編集担当 清水稜平

地域と結ぶ合唱活動プロジェクトⅦ ～秦野市立西幼稚園と横国附属鎌倉中学校を訪問指導～



プロジェクト委員長 地崎 律子

今年度のプロジェクトは秦野市立西幼稚園からスタートしました。5月と6月との2回地崎が訪問し、つき組、にじ組、ほし組の年長の3クラス(約120人)を30分ずつ指導しました。いずれもリズム体操で心とからだをほぐした後、子ども達が大好きな園歌の練習をしました。一生懸命のあまりメロディが無くなってしまふほど声を張り上げて歌う子がいましたが、「おともだちのきれいな声を聴きながら歌おうね」とアドバイスしたところ、歌声が急にきれいに変わりました。わずか5・6才なのに、感性は十分に出来上がっているのです、音楽的な良い指導が必要だと改めて思いました。秋には、もう一度このかわいい子ども達を訪問指導する予定です。

7月の末には、横浜国大附属鎌倉中学校より依頼がありました。NHK音楽コンクール課題曲「予感」、自由曲「地球へのバラード」より「沈黙の名」「地球へのピクニック」の3曲を桑原理事長が訪問指導しました。コンクール出場予定との事で早朝より昼すぎまで4時間みっちり3年生約40人が熱心に練習しました。講師によると「生徒たちは、良く訓練され、合唱をする事にプライドを持っているようだった。腹筋や背筋の使い方を見本を見せながら説明すると、「おなかや背中をさわらせてください」「ああ、そうなのか」「よくわかった」等、興味を持って講師の指導に答えてくれた」とのことでした。

プロジェクトでは子ども達の合唱普及・発展のためならどのようなお手伝いも致します。学校で地域で「これから合唱を始めたい」とか「合唱団のレベルアップをしたい」など、どのような事でも気軽に、お問い合わせください。

お問合せ先・・・担当理事 地崎 律子

電話・ファクス・・・0463(88)3643

Eメールアドレス・・・chizatr 21 @ ybb. ne. jp

事業案内

第8回ヴィサン・ジョイントコーラス・フェスティバル開催

日時	2002年11月14日(木)	今年は参加団体数36(県外からの参加6団体を含む)と多数の参加を予定しています。
	Aブロック 10:30より	
	Bブロック 14:20より	シニアのフェスティバルも年毎に盛大となり、また内容も非常に充実してきました。どうぞ来聴下さいませ
場所	横浜みなとみらい大ホール	す様お待ちしております。 実行委員長 吉田奈美子
講師	桑原妙子先生 吉田孝古磨先生 (50音順)	

第37回「メサイア演奏会」のご案内

年末恒例の神奈川県立音楽堂主催「メサイア演奏会」が下記の通り開催されます。

とき	平成14年12月15日(日)	開演14:30
ところ	神奈川県立音楽堂	
入場方法	11月1日～14日まで	往復はがきで音楽堂宛に申し込み。(抽選)

ヴォーカル・アンサンブル・コンサート 開催のご案内

日時：平成14年12月26日(木)

会場：杜のホールはしもと JR横浜線橋本駅前

毎年12月に行なわれる中・高ヴォーカル・アンサンブル・コンサートは、今年で9年目をむかえます。このコンサートは少人数による演奏を通じて個人の音楽性を高めるとともに、小アンサンブルの素晴らしさを味わうことのできるコンサートです。

毎年、各学校から多数の参加があり、「水戸黄門」から「クリスマスメドレー」「ゴスペル」そして「ミサ曲」までと、幅広いジャンルの曲が演奏されます。

昨年行なわれた第8回のコンサートでは、聴きにきてくださるお客様もたいへん多く、会場が満席となるほど盛況となりました。

参加については、1チーム2～15名ぐらい、一校につき複数チームの参加も可（申し込み多数の場合は各校より選ばせていただくことがあります）参加費は1チームにつき1,500円です。

どうぞ皆さま、お誘いあわせのうえ、ご参加、ご来場をお待ちしております。

第9回ヴォーカル・アンサンブル・コンサート

担当理事 岡田 英子

第25回神奈川県ジュニア合唱祭の開催

日時：2003年4月5日(土)

会場：神奈川県立音楽堂

「第25回神奈川県ジュニア合唱祭」が上記により開催されます。県連が全国に先駆けて始めた「ジュニア合唱祭」は半数以上に当たる15回を藤沢市で開催し、ここ3年は厚木市文化会館で開催してきました。県立音楽堂で開催されるのは15年ぶりです。

25回目の記念に何か将来に残る企画をとということで、作曲家の松下耕氏に「ジュニア合唱祭」のために1曲書いていただく事になりました。松下氏は

神奈川合唱連盟主催 合唱講習会の開催

実行委員長 松村 努

日時：2003年1月26日(日)

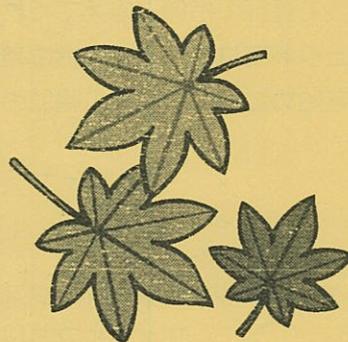
会場：横浜西公会堂（横浜駅より徒歩8分）

問合せ：県連事務所 045-324-8387

(月～金 12:00～16:00)

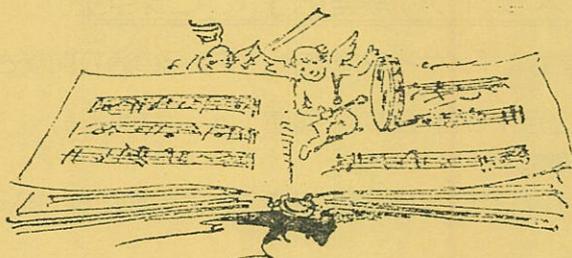
現在決定している内容は、前回大変好評でした、小松英典先生の「ドイツ語の発音と発声」vol.2を午後から予定しています。前回同様モデル合唱団を実際に指導して頂きながら、生きたドイツ語の発音と、発声上の問題点についての講義をして頂きます。

また、午前の部は、中高生を対象とした、合唱講習会を予定しています。内容については現在検討中です。



「藤沢ジュニア・コーラス」の指導を伊集院前理事長から引き継がれ7年位経ちます。数年前から「ジュニア合唱祭のために何か曲を・・・」とお願いしていたものが今回実現する事になったわけです。その曲を合同演奏で初演する予定です。そして、詩は全ジュニアの会員に呼びかけて募集しています。その中から良いものを選び、松下先生が曲を付けて下さる事になっています。その他にも企画を立案中です。

ジュニア合唱祭実行委員長 志澤 彰





副理事長 高橋賢次氏を偲ぶ

寄稿してくださった方々

大館 惺雄（逗子混声合唱団） 近藤 寛邦（旧県連理事）
歴代理事長（就任順）
関屋 晋 吉田孝古麿 伊集院俊光 桑原 妙子
横浜紅葉丘合唱団の方々

あの時代

大館 惺雄（逗子混声合唱団）

九月九日、「賢ちゃん」死去の報が入った。いつかこの日が……と覚悟はしていたが、いざ、それが現実となると、何とも形容のし難い寂寥の思いと、県の合唱界の商標のようになった「高橋賢次」という名前が消えてしまうことの空白感は防ぎようのないものがある。

私が高橋君と始めて出会ったのは、もう五〇年近い前のことである。戦後間もない一九五四年十一月、今の横浜紅葉丘合唱団の前身である横浜労音合唱団が設立され、私も入団した。その頃、高橋君はまだ桜丘高校の学生で、学生服を着て練習に来てテノールの席に座っていた。ところが、ただ練習に通っていたのが、半年ほど経って、この百人を超える大世帯の運営を高橋君とコンビを組んで任されることになったのである。

この関係は十年近く続いたのではないかと思う。若さもあって高橋君とは年中顔を合わせて色々な相談をし、打ち合わせをし、その頃は人生・生活すべて合唱団であった。思えばこの時代は横浜が合唱王国といわれた時代で、私も高橋君と共に、この時代の熱さを楽しみ、また、その一翼を担い、その上、合唱団自体も何のゴタゴタもなく、指導者であった村山拓也先生のおかげで順調に成長した幸福な十年であった。

私は高橋君と顔を合わせるといつもこの「時代」の思いと重なってくるのは如何ともし難いものがある。

合唱団の中では、高橋君はいつも「賢ちゃん」と呼ばれ、誰も高橋君とか高橋さんとは呼ばなかった。あの丸顔の童顔と雰囲気こそがそうさせたので、高橋君では全体像が浮かばないのである。

私は彼と共に県連設立総会で「書記」の役になったが、それから彼は四十有余年、事務局を担当し、県連をここまで育て上げた。それには大変な苦労と努力があったと思うが、私には決してそれを口にせず、県連の未来像だけを語っていた。

手許に、一九六四年に作った「横浜紅葉丘合唱団十年の歩み」という小冊子がある。

巻末に編集者として名を連ねているのは高橋君と私と不肖 私の家内である。この一人が欠けてしまったのは寂しいという言葉だけでは書き尽くせぬものがある。

「賢ちゃん」 安らかに眠れ。 合掌

故・高橋賢次さんを偲んで

旧県連理事：近藤寛邦

高橋さんとのお付き合いは、合唱団員として37年間、県連役員として24年間でした。従って、あまりにも色々なことを知り過ぎているため、どの様な言葉でご冥福を祈ったら良いか悩んでしまいます。県連事務局長としてのお顔は、みなさん良くご存じの通り。44年間の継続に頭が下がります。

いわし料理店「みの」の店主としての時間以外は、全て県連に関した事に費やしたと言っても過言ではない様です。奥様も「県連関係」と言って外出すると「しかたが無い」とあきらめていた。との事。

高橋さんが最初に「がんセンター」に入院したのは、'91年8月でした。そのときは大腸にポリープがあり、切り取った。との事でした。その後、入、退院を繰り返し11年間頑張った訳です。

事務局長としてしっかりしている高橋さんは「旅」に出ると全くののだだっ子。合唱団有志での温泉旅行には、必ずご夫婦で参加されておりました。「中房温泉」「塩原温泉」「夏油温泉」等々。旅先では奥様に発する言葉は「うん」のみ。『あなたコーヒー飲むんでしょ？』『うん』『お砂糖入れるの？』『うん』『ミルク入れるの？』『うん』てな調子。周囲の我々はもうバカバカしくて見ちゃいられない。家でもこんな状態だったのかも。

時間にルーズな面もあったっけ。レンタカーの「中型バス」で行く事が多かった旅。「ここで10分のトイレタイム」の時など、時間を守らない人が必ずいるものです。時刻が過ぎて、お土産を沢山かかえ、ゆっくり歩いてくる。そのときの悪びれた様子もない笑顔にリーダーは文句も言えず。奥様はいつもハラハラ。「しょうがないわねー」とすっかり慣れてしまっている様子。そんな世話が焼ける「おとうさん」に遠くへ旅立たれて、一番寂しがっていらっしやるのは勿論、奥様でしょう。

今、奥様は健康でないお身体。少しでも早く良くなり「温泉旅行」でも楽しんでいただきたく願っております。

高橋さん、12月15日は天の上で「メサイア」をちゃんと歌うんですよ。 合掌。

高橋賢次さん、有り難うございました。

関屋 晋

高橋さんが亡くなったと知らせが入って、私は愕然とした。つい先日、私の叙勲のことで、高橋さんからお祝いを受けたばかりだったし、その間も、何かの折りにお会いすることがあったが、いつも健康そうで、具合が悪い等と思ったことがなかったからだ。

私が神奈川県合唱連盟理事長をやったのは、ずいぶん前のことなのに、高橋さんがこのように気を遣って下さったことが私には大変嬉しかったのだが、いつも変わらない高橋さんの仕事振りを思い出していた。

どうして私が理事長に選挙されたのか分からなかったし、土台、理事長は何をどうやるのかも知らなかったから、事務局長をやっていた高橋さんが手伝ってくれなければ、私がそんな重要な役目を果たすことはできなかったと思っている。

朝日新聞横浜支局や神奈川県庁との連絡を密にして、行事の向上を図ったり、新しいイベントを企画実行したり、本当に大変だったでしょう。私も当時、1年があっという間にすぎたことを覚えています。

— そろえば私の在任中にやったことでは「ジュニアコーラス全国大会」を開いて欲しいと本部に申請したところ、当時、「ジュニアコーラス」に活動の場を開いていたのは神奈川県だけだったので、本部から「プレ全国大会」をやってみろと言われて、初めての企画の道を開いたことは忘れられません。

その翌年から「ジュニアコーラス全国大会」は行われる様になり、大きく花開き、今年も行われたばかりだ。これも私の片腕となって働いてくれた高橋さんがいたからだ、深く感謝しております。

あちらに行かれても、どうか神奈川県合唱連盟を見て居てください。

— “賢ちゃん” への手紙 —

神様なぜ? …… とても、とても、残念です。

県合唱連盟 顧問 吉田孝古磨

あれは8月、夏の真っ盛り……横須賀も暑い日でしたね。「全日本ジュニア・コーラス・フェスティバル」のお仕事を2日間、ご一緒していた時、とても疲れたご様子でしたので案じておりました。翌日の5日、「県合唱フェスティバル」の打ち合わせの帰りに、前日のことが気になっていたのも、一人でお店に立ち寄りしました。遅かったせいか、お客がいないのを幸いに、ゆっくりさせてもらいました。例によって「イワシの納豆和え」をつまみに、酒は私の好きな「美山錦」。そしていつもの様に「県連」や「合唱」の話が“メインの料理”という具合でしたね。(この夜が“賢ちゃん”との最後になるとは……)

“賢ちゃん”との最初の出会いは、1958年県連が結成された時でしたね。当時、私は「平沼高校女声合唱団」の指揮をしていたので、高校理事として、その後副理事長(19年間)、理事長(6年間)、顧問(7年目)と44年間「県連」を通じて一緒に歩んできましたから、組織の中では一番長いお付き合いだったかもしれませんね。

お店にもずいぶん通いましたね。桜木町の時代からのお付き合いなので、料理のアイデアの変遷も楽しみでした。生だけでなく、素材を生かした加工品(仕込みに手間がかかるようだが、僕は「卵の花漬け」が大好きでした)や、イワシが少し苦手の方たちのためにも、イワシ料理以外のものもメニューとして数多く用意されていたのに感心したものでした。

この精神は「県連」の仕事振りにも良く表れていましたね。事務局専従時代には、静かにみんなの意見を聞いていて、時々、ボソッと歌い手達のために全体的見地から、アドヴァイスやアイディアを出してくれて、私達の暴走を防いでくれて助かったものです。勿論、県連の「生き字引」としての役割のほかに、迷子にならぬようきちっと地図を示してくれました。だからこそ、長い間、山根・村山・関屋・吉田・伊集院・桑原、各理事長との両輪をバランス良く動かして、やってこれたのだと思います。

聞くところによりますと、9月にかけての県のコンクールのことを気にしながら、前日に再入院なされたようですが、それから一週間後に悲しい訃報に接するとは、誰も予想しなかったに違いありません。

「県連」の仕事での柔らかな顔、お店での笑顔、そして何よりもステージで歌ってた時のあの輝いていた顔が今でも忘れられません。初めからずーっと参加してきた「音楽堂・メサイア」……これからも皆さんと一緒に歌い続けてください。

それにしても「神様、どうして!!」とても、とても残念です。

賢ちゃん、ありがとう！

伊集院 俊光

2年ほど前に、高橋勝司先生から“賢次さんを、ねぎらう会をやろうよ”、というお話がありました。先生はその後、たびたび顔を合わせては、そのことを言っておられました。私も胸中、そのことがとても気

になっていたのですが、さまざまな状況の中で、“賢ちゃん、長いあいだ、ご苦労さま”と、みんなで一という機会を逸してしまったことが、今となっては、なんとも悔やまれ、心のなかに、ずしりと重いものを感じています。

今、こうして亡き高橋さんを偲び、私の理事長時代を静かにふりかえってみると、この人あっての連盟であり、私であったように思います。私の在任中、同じ歳であった高橋さんから、どれほどの示唆を受けたことか。沈着冷静な気配りと、的確な助言が、どれほど私の判断に大きな助けとなったことか。高橋さんなくして、私の理事長としての責を全うすることはできなかつたであろうと、今でも、心ひそかに思っています。

私は、高橋さんに、同じ歳ということもあって、たいへん親しみを感じていました。でも、一度も“賢ちゃん”と呼んだことはありませんでした。私より半年ほど早く生まれた高橋さんを、兄貴のように思い、どこかで、頼りにしていたところがあったのかも知れません。いつも控えめで、驕ることも、激することもなかった誠実な人柄で、理事諸氏からも厚い信頼を寄せられていた高橋さんが、かつては、神奈川の代表として幅広く活躍した、紅葉丘合唱団のかなめとして、また事務局長として連盟の発展に多大の貢献をした、その功績と共に、高橋さんの存在の大きさを、今、あらためて思います。

一方、長年にわたって情熱を注ぎ、いまや恒例となった“メサイヤ”との関わりも長く、年末のステージには、半世紀に及びキャリアを積んだ、自負と誇りを見せる、もう一つの顔が。

“賢ちゃん、長いあいだ、ご苦労さまでした”。

「高橋賢次さんに百万回の有り難うを」

桑原 妙子

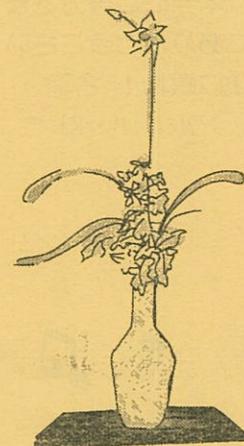
高橋さんとの出会いは、いまから26年前の電話での会話でした。小田原少年少女合唱隊が県連に加盟したい、というお願いの電話に、「合唱連盟は大人の合唱団だけなんですけど……」と困ったようなお返事でしたが、その時（優しくな暖かい感じの方だな）と思いました。その第一印象は、その後全く変わることなく、どんな時でも、どんな所でも、いつも細やかな気配りと配慮をして下さいました。44年間にわたって神奈川県合唱連盟の発展のために一身を捧げ、献身的に活動して下さいたからこそ、現在の県連があると思います。朝日新聞の記事で、高橋さんの癌との戦いを知っている方は合唱関係者以外にも多勢いらっしゃると思いますが、私を含めて、もうすっかり健康になられたと感じておりました。

「再発したけどコンクールが終わるのを待って入院しますから」と最後まで県連を最優先させて下さいました。8月31日のコンクール当日救急車で緊急入院、そして僅か8日間後の9月8日にお亡くなりになりました。病院からご自宅への帰途、お車は、音楽堂と県連事務所を廻って下さったそうです。旅立ちの服装は、ステージでご愛用の白のブレザーに県連のグリーンジャンパーだったとお聞きしました。

いまでも「みの」へ行ったら、県連の事務所へ行ったら、あの優しい笑顔に会えるような気がします。

県連の大切な宝物を失って、誰もの胸に大きな喪失感が残されました。

「高橋さん、有り難うございました。天国でも、お好きな歌を歌って下さい。高橋さんが全身全霊で作って下さった県連を、残された私達は大切にしていきます。どうぞ天国から見守っていて下さい。」



在りし日の高橋賢次氏と「横浜紅葉丘合唱団」

去る9月8日(日)相模鉄道線「二俣川」駅近くに在ります横浜ガンセンターに高橋氏を見舞いに行ったところ七号病棟に彼の名前がない。

そんな「はず」はないと念のため見直したが矢張りない。若しやと?直感し看護婦に「高橋氏」はと問うたところ「今朝亡くなりました。」と素っ気ない返事が返ってきたのである。それでは「病名」は、と聞いたところ「それは私からは言えません」と云われこれは一大事とご家族にお聞きしましたら「彼の妻も体調を崩しているのであまり事立てしないで頂きたい。」とのことで経過したところす。此の事は後日の朝日

新聞の訃報で記載されました。生前中の高橋氏の経歴の一端から知る限りでもうしますと、横浜市立桜丘高校在学中から「昭和29年代」当時、約九百余名の生徒会の会長としてその役割を果たし現在、神奈川県合唱連盟会長を務めて居られます村山拓也先生に音楽の教えを頂き、卒業後は当時村山先生が指揮をされて居られた「横浜紅葉丘合唱団」に入団した。その頃、紅葉丘合唱団は西区紅葉坂にありました横浜市婦人会館で火曜日と木曜日の週2回の練習を行っておりまして、村山先生のご指導が終わりますと彼は先生を三十年代は未だマイカーを持っている者が少ない時代に、愛車で自宅までお送りし休日等に打合せその他催し物にご出席の場合でも矢張り送迎役を長く引き受けていたことが思い出される。そのような中で彼は県合唱連盟にも重宝がられ卓越した事務方としての実行力が今日までに及んだのではないかと思います。一方、横浜紅葉丘合唱団では創設、結成当時のメンバーであり、約五十年の団歴を誇っていた。その彼が亡くなって生き字引の者がいなくなり演奏会および交歓会、その他の催し物に当たっては、その企画構成立案を今後誰が背負うのか他の者が真似することの出来ないセンスと技量を持っていた彼に去られて初めて気づいているところである。彼は皆様ご承知のように常に冷静沈着そのものであり、彼の経営する「いわし料理みの」でも他の団体からの問い合わせ、事務局の延長的な仕事でも懇切丁寧に対応していた在りし日の彼の姿が思い出されてならない。

「モシ、モシ、タカハシデスガ」で始まる彼の電話の声はもう聞かれない。淋しい限りである。高橋さん、五十年間ご苦労様でした。 緩っくりお眠み下さい。

只々、ご冥福を祈るばかりである。

(T・Y)

紅葉丘合唱団を長年指導して下さった村山拓也先生は「継続は力なり」という言葉を練習の時によく言っておられました。先生の秘蔵っ子高橋賢次さんはそれを地でいった方ですね。県合唱連盟発足時から45年間、不言実行、強い信念で年間行事をさばってきた高橋さんの姿が焼き付いています。そして紅葉丘合唱団をこよなく愛した高橋さん。本当にご苦労さまでした。本当にありがとうございました。安らかに眠れ! 合掌

(アルト F・K)

いま、私達は愛する者を失いました。いまのいままで我々と一緒に楽しく唄っていた高橋さんが、急に息をとめ、なきがらとなって私達の処に帰ってくるなんて誰が想像したでしょう。いまだに信ずることが出来ません。

多くの人々に尊敬され、親しまれ敬愛され、県合唱連盟の為に、一杯生き抜いた高橋さんの生き方を我々も見習い、与えられた日々を大切に送ることが残された我々の使命だと思って居ります。どうかこれからは、心安らかに天から私達を見守って下さい。

(I・M)

高橋さん、チョット早かったわね。当時まだ戦後を引きずっている時代、歌う喜びで若さを発散させていた頃、ツメ襟姿の高橋さんが村山先生の手足となり合唱団を支えて良く頑張って、第1回目の発表会やキャンプをしたり昨日のように目に浮かびます。

それから48年、温厚な人格は県連の仕事に、合唱ひと筋に本当に惜しまれてなりません。心よりご冥福をお祈りいたします。

(H・T)



事業報告

高橋さん大変お疲れ様でした（就任挨拶に代えて）

副理事長兼事務局長 平井 保

9月8日深夜、突然の悲報に接し、驚きと、これからの事の重大さを思い、がく然と致しました。

この日は夜6時から定例の理事会が開催され、高橋さんの1日でも早い回復の為に少しでもお役に立てればとの思いから、副理事長をお受けしたばかりだったからです。

高橋さんの県連に於ける功績は私がここに述べるまでもなく、40有余年に亘る、誠実で献身的なお仕事はとて余人に真似の出来るものではありません。

私が十数年前理事になってより、どれ程助けて頂いたかわかりません。また、どんなイベントにも受付にはにこやかな高橋さんの姿があり、県連の顔であった高橋さんがおられるだけで、安心感を抱いたものでした。

そんな偉大な高橋さんの後をお引き受けした事に、今もためらいはあるのですが、その遺志を継いで、微力ではありますが県連発展の為に、頑張って参りたいと思っております。

現在は若い優秀な理事の方々が多く、将来はその方々が県連の新しい姿を築いてくれるものと期待しております。そのつなぎとしてのお役を果たしたいとも思っておりますので、皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます。そして、高橋さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

「合唱講習会」報告

田中 登志生

県連主催の合唱講習会が、去る7月27日、横浜西公会堂にて、講師にドイツ政府より、プロフェッサーの称号を与えられ、現在ブレーメン国立音楽大学教授の小松英典氏を招いて開催致しました。

氏はヨーロッパ各地で、著名な演奏家達と共演され、特にドイツ歌曲において大変造詣の深い演奏で知られています。この講習会では、3つのモデル合唱団（女声・男声・混声）にドイツ語の曲を演奏して頂き、氏の現在主流の発音及び発声について、多くのアドバイスを受けました。約250名の聴講された方々は、その様子を客観的に聴く事によって、より実践的な発音の仕方などを学ぶことができ、大変有意義な講習会となりました。

この講習会は、「一般及び指導者の為の講習会」としてはありますが、今回は特に実践的で、すぐに応用の効く内容であったと感じ、正に指導者の方々が多く参加されるべき講習会であったと痛感致しました。

講習会の途中で、小松氏がシューベルトの「白鳥の歌」の中から「セレナーデ」を歌われ、講習内容と実際の演奏との結びつきを示されて、受講された方々から熱い拍手がわき起こった事をご報告致します。

全日本ジュニアコーラス・フェスティバル2002

開催報告

2002年8月3・4日（日）「よこすか芸術劇場」全国から一般の少年少女合唱団25団体と台湾から榮星児童合唱団・イスラエルからモラン女声合唱団の計1,200余名が集まって、「全日本ジュニアコーラス・フェスティバル2002」が8月3・4日「よこすか芸術劇場」で開催されました。

3日には、開会式・「ワンポイント・アドバイス」「こどものためのアトリエ」とその発表、4日には「フェスティバル」が開催されました。県内からは「かながわジュニア合唱団（県内ジュニア8団体の合同団体）」「青木少年少女合唱団」「ゆりがおか児童合唱団」「横須賀芸術劇場合唱団少年少女合唱隊」の4団体が参加しました。この中から「ゆりがおか児童合唱団」は、参加団体中3団体に送られる「講師賞」をいただきました。

このフェスティバルの運営に横須賀地区の合唱団や県連のスタッフなど延べ200名以上のご協力を頂き無事終了いたしました。スタッフの皆さんお疲れ様でした。ありがとうございます。突然回ってきた全国レベルの行事に実行委員会の開催も13回におよびましたが、2日間特に問題もなく運営され、子供たちに夏の良い思い出を作ってもらえたのではないかと考えています。

実行委員会運営統括 志澤 彰

コンクールを盛り上げよう!

合唱コンクール実行委員長 鈴木 章司

去る8月31日、9月1日の二日間に亘って、第45回神奈川県合唱コンクールが県立音楽堂を会場に開催されました。夏の暑さが強烈にホール内外の熱気をあおり、正に“熱い戦い”が繰り広げられました。

昨年よりも参加団体・参加者が、およそ20%も増加しました。ここ数年漸減状況が続きましたので、実行委員長として少し安心致しました。ただ、会場が活気に溢れていたのは良かったのですが、ここかしこにマナー違反やルール違反が目についたのも去年以上でした。コンクールだからといってやたらに窮屈にしなくても良いとは思いますが、コンサートホールを使うときのごく常識的なルールを知っておいて欲しいとは思いました。例えば、会場備え付けのソファに長々と横たわるとか、演奏中にホール内を横切ってドアを開けて外へ出ようとするなど、演奏を聴きする姿勢が出来ていない態度が、特に初日、中学・高校部門の日が目に残りました。現場の先生方には更にご指導をお願い致します。一般の部が行われた2日目は大人の方が殆んどだったせいかマナー云々はありませんでした。ホール内も大いに寂しいものでした。コンクール参加者は歌うだけでなく、しっかりと聞いて勉強する姿勢を忘れて欲しくありません。これも指導者の方々に団員の指導をお願い致します。

また、今年から入場料を頂く事になりました。県連事業の入場有料化は理事会を舞台にここ数年議論を重ねた上で、今年度の総会でコンテスト系の事業(当コンクールと3月のアンサンブルコンテスト)について入場料を頂く事になったのですが、こちらからのアピールが充分でなかった為、会場へ来て有料であることを知って戸惑われた方もいたようです。また、県立音楽堂の広報誌にこちらのミスにより「無料」と掲載されてしまい、お客様や音楽堂にもご迷惑をお掛け致しました。初めての事で、入場券の売れ行き予想を誤って初日などは、途中で入場制限をするほどになるなど、受付はてんやわんやでしたが、皆様のご協力で当日売りだけで400枚以上のチケットを買って頂き、数年来の赤字決算を払拭できそうな見通しです。又カヨロコピは禁物ですが、県連事業のあり方に一石を投じる結果が出たと思います。

さて、来年の神奈川県合唱コンクールはリニューアルして、2日間開催が1日開催に日程の短縮が図られます。これには県の財団と県連との関係が絡んでいて、ここでは詳しく書くスペースがありませんが、今年度の参加団体数が38団体でしたので、一日で充分開催可能であろうというのが理事会の結論です。例年には無かった様々なことが出て、参加者の方にも戸惑うことがあるかもしれませんが、どうぞご参加いただけますようお願い致します。

おcaaさんコーラス関東大会報告及び全国大会の結果

実行委員長 奥河瑛子

第25回全日本おcaaさんコーラス関東大会が6月29日(土)30日(日)宇都宮文化会館で開催されました。茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、新潟、山梨、静岡、の9県から106団体、約3150人が集まりました。各団体とも日ごろの練習の成果を遺憾なく発揮され会場は熱気があふれ盛り上がりました。2日間の優秀賞の団体の中から、抽選などの方法で全国大会に出場する13団体が選ばれた。

優秀賞受賞の神奈川県団体と全国大会への出場団体は次の通り。(出演順)

- ▽ 優秀賞：ラ・カンパネラ、コーロ・みお、女声合唱団藍の会、女声合唱団「松」、ボカ・グランデ、ママ・マルベリー、逗子女声合唱団、シュタイン・フォー
- ▽ 全国大会出場団体：コーロ・みお(神) 女声合唱団藍の会(神) コーロ河口湖(山) 水戸うらら女声合唱団(茨) ミモザ合唱団(栃) 女声合唱団コール・クランツェ(栃) ラ・スカーラ(埼) ボカ・グランデ(神) 浜松フラウエンコール(静) 逗子女声合唱団(神) コーロ・アプリーレ(埼) リトルコール・静(栃) シュタイン・フォー(神)

全国大会の結果

第25回全日本おcaaさんコーラス全国大会(全日本合唱連盟、朝日新聞社主催、キューピー株式会社協賛)が8月23日24日25日の3日間東京文化会館で開催されました。25回の節目を記念して92団体が参加、優秀賞の「ひまわり賞」が28団体に贈られた。神奈川県では〈シュタイン・フォー〉が見事に「ひまわり賞」に輝きました。関東地区では、ミモザ合唱団(栃) リトルコール・静(栃) 浜松フラウエンコール(静)の4団体が「ひまわり賞」を受賞されました。おめでとうございます。

第2回理事会報告

日時：2002年7月14日

場所：かながわ県民センター 議長：田中副理事長
[報告]

1. 第45回神奈川県合唱祭報告

6月8日(土) 36団体 6月9日(日) 44団体
6月22日(土) 52団体 6月23日(日) 56団体
合計188団体が出演

■出演希望日に片寄りが多く、希望日が動かしがたい場合、今後の課題となる。また講師3人では出場団体数に比べてキャパシティを超えている。

2. 第12回神奈川県おかあさんコーラス大会報告 [議題]

1. 新規県連加盟4団体が承認された。

横浜市立神奈川中学校 聖ヨゼフ学園グリークラブ
県立秦野南が丘高校合唱部
川崎市立養護学校 Non-al.Chor

2. 神奈川県合唱フェスティバルの内容

「県内各市連盟交流会」を実施し、催しの内容を決める事となった。

3. 第5回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト 参加要項・申し込み書の内容検討を行なった。

4. 各事業の審査員選考と講師依頼

1997~2002の実績表及び各事業別候補一覧表をもとに依頼先検討。

5. 2003年度合唱コンクール

来年は9月7日(日)の一日開催とする見通し。

6. 各事業業務内容の実行委員会/事務局分担一覧表 を検討し、分担を決めた。また、各事業に会計を置き 仮払金を預かり決済していく事とした。

7. 第2回関東合唱祭

開催地は千葉県松戸市に決定。県連からはアンサンブルの部に「リベルテ」、合唱の部に「横浜国大付属中学」が出演する。

8. 県連所属合唱団の団名に横文字(アルファベット) 採用検討結果

新加盟で強い要望のある場合はカタカナ併記で受け付けることになった。

第3回理事会報告

日時：2002年9月8日

場所：かながわ県民センター 議長：田中副理事長
[報告]

1. 合唱講習会開催報告

2. 全日本ジュニアコーラスフェスティバル開催報告

3. 全日本おかあさんコーラス全国大会報告

4. 神奈川県合唱コンクール開催報告

■県連初めての有料入場事業であったが、当日券500枚を販売。

5. 第37回「メサイア」練習日程が決定した。

[議題]

1. 第8回ヴィサン・ジョイントコーラス・フェスティバルの開催

■2002年11月14日(木)

10:30~17:00 横浜みなとみらいホール
出演団体は関東6県からの団体を含め36団体となった。

2. 第9回中・高生のためのヴォーカルアンサンブル・コンサートの開催

■2002年12月26日(木) 10:30~
社のホールはしもと

9月24日付けで実施要項を各校あて発送

3. 第26回県合唱フェスティバルの開催

■2003年2月16日(日) 県立音楽堂
内容は神奈川県各市合唱連盟推薦のジュニア及び成人の合唱団の交流演奏

4. 第5回かながわヴォーカルアンサンブル・コンテストの開催

■2003年3月16日(日) 県立音楽堂

5. 県連事務局人事

9月より理事の平井保氏に、副理事長兼事務局次長の役職就任をお願いした。



神奈川県合唱連盟加盟団体 コンサートガイド
横浜オラトリオ協会合唱団 第66回定期演奏会

指揮：中村 皇 伴奏：永川 恵子

- ◇ バビロンの川のほとり」ほか パレストリーナ作曲
- ◇ 混声合唱曲集「落葉松」 小林 秀雄作曲
- ◇ レクイエム ケルビーニ作曲

11月1日(金) 開演19:00 神奈川県立音楽堂

入場料：大人1000円 お問い合わせ：宗方 ☎ 045-541-9302

さざなみ会 コンサート2002

指揮：村田 晶乃 伴奏：安藤 江浪

- ◇ 三声のミサ W. バード 作曲
- ◇ 水と影 ～金子みすずの詩による組曲～ 小林秀雄 作曲
- ◇ ルネッサンスの小品ほか
- ◇ 美しき碧きドナウ ヨハン・シュトラウス 作曲

11/13(水) 開演19:00 港南区民文化センター ひまわりの郷ホール

入場料：無料 お問い合わせ：村井明美 ☎ 045-758-7434

まどかコーラス 第13回演奏会

指揮：石井 康男 伴奏：久野 圭子

- ◇ Dancing Day John Rutter 作曲
- ◇ 「白いうた青いうた」より 新実徳英 作曲
- ◇ IN TERRA PAX 荻久保和明 作曲
- ◇ 私の「サザンオールスターズ」 桑田圭祐作詞・作曲
朝岡真木子・石井康男編曲

11/16(土) 開演14:30 平塚市民センターホール

入場料大人：大人1000円 お問い合わせ：原好美 ☎ 0463-32-6803

横浜YMCA混声合唱団 第41回定期演奏会

- ◇ ミサ・プレヴィス パレストリーナ 作曲

指揮：宍戸 純

- ◇ あいさつ・おがわのマーチほか 高橋勝司 作曲

指揮：染谷謙一 ピアノ：寺尾菜穂子

- ◇ 秋のメドレー たかしまあきひこ 作曲

指揮：宍戸純 ピアノ：富井玲奈

- ◇ 三つの優しき歌 新実徳英 作曲

指揮：宍戸純 ピアノ：富井玲奈

11/21(木) 開演19:00 横浜みなとみらい小ホール

入場料：1000円 お問い合わせ：小島基弘 ☎ 045-852-1704

女声合唱団鈴の会 第7回定期演奏会

指揮：田中登志生 伴奏：前原千晶・更江真生子

賛助出演：鎌倉長谷コーラス ソリスト：S 瀬戸理恵子 M 紙屋弘子 A 大林智子

- ◇ 音戸の舟唄 岩川三郎作詩構成
- ◇ FORK SONGS OF FOUR SEASONS R.Vougham Williams 作曲
- ◇ はんぶんずき 福永百子 作曲
戸塚幼稚園の子どもたち詩

- ◇ MISSA BREVIS in D-dur KV194 W.A.Mozart

11/22(金) 開演19:00 横浜みなとみらい小ホール

入場料：1000円 お問い合わせ：花島桂子 ☎ 0467-51-7483

横浜混声合唱団 第12回オフオフ合唱コンサート

「チョット早めのクリスマス part II」

指揮：小泉ひろし・吉田孝古磨 伴奏：オフオフ・メサイア室内合奏団

共演：オフオフ・メサイア合唱団

- ◇ 心をいやす「世界のクリスマス・キャロル」 羊のそばにいる時に他7曲
- ◇ 心をゆする「MESSIAH」 メサイア第2部・3部 受難・復活・永世

11/24(日) 開演14:00 関内ホール

入場料：2000円 お問い合わせ：かまだ ☎ 045-314-5530

女声合唱ルビー 第4回演奏会

指揮：葛西 みな子 ピアノ：鈴木敦子 パーカッション：寺田由美

- ◇ 宗教曲 アヴェ・ヴェルムコルプス他
- ◇ C.ロッセッティの4つの歌 木下牧子 作曲
- ◇ 女声合唱のためのホームソングメドレー(アメリカ編) 源田俊一郎 編曲
- ◇ 映画音楽他

11/24(日) 開演14:30 フィリアホール

入場料：無料 お問い合わせ：河津幸 ☎ 046-274-1201

横浜室内アンサンブル 第10回記念演奏会～寺島陸也 個展～

指揮：徳永 祐一・椋木 誠司 指揮・ピアノ：寺嶋陸也

- ◇ アポリネールの三つのシャンソン 堀口大學訳 1988
- ◇ 夜明け アメリカ大陸先住民の詩による 金崎寿夫訳 1994
- ◇ 詩篇第49番「諸国の民よ、これを聞け」 1999
- ◇ 混声合唱のための「草」 W.ホイットマン詩 1999年委嘱作品
- ◇ 2002年委嘱作品

11/30(土) 開演14:00 神奈川県立音楽堂

入場料：1000円 お問い合わせ：椋木誠司 ☎ 045-847-5846

フロール・デル・マール 第5回コンサート

指揮：亀田 眞由美 伴奏：細江 聡子

Br.森野信生 伴奏：太田彌生 お話：熊倉一雄

- ◇ 六つの子守歌(全曲) 池辺晋一郎 作曲
- ◇ 秘密の花(全5曲) 西村朗 作曲
- ◇ ピアノとつづる懐かしい日本の情景 冬景色 他全5曲 太田彌生 編曲
- ◇ 独唱 森野信生(Br.) 亀田眞由美(S)
- ◇ オペラと楽しむフロール・デル・マール版アリア
恋の悩み知るきみよ 他全6曲 太田彌生 編曲

11/30(土) 開演14:00 横須賀市はまゆう会館ホール

入場料：1300円 お問い合わせ：阿久根麻子 ☎ 0468-36-8130

シグナス合唱団 55周年記念演奏会

指揮：青木 雅也 伴奏：佐野 伸子

山下牧子(S) 青柳素晴(T) 杉山範雄(B) 伊東久加(S)

南足柄ジュニアコーラス 他

- ◇ 混声合唱組曲「海鳥の詩」 廣瀬量平 作曲
- ◇ 4 page Mass Missa Brevis 青木雅也 作曲
- ◇ オペラ「カルメン」～歌と芝居と語りで綴る～ ビゼー 作曲

12/8(日) 開演13:30 小田原市民会館大ホール

入場料：1500円 お問い合わせ：高田信弘 ☎ 0465-74-7813

女声合唱団 横浜木せい会 第六回演奏会

指揮：磯部 周平 伴奏：永井 博子

- ◇ アヴェ・マリア 磯部 倅によるシューベルトの世界
ます、 セレナーデ、 きけ、ひばり、 アヴェ・マリア
- ◇ 女声合唱組曲「心の四季」 高田三郎 作曲
- ◇ 小さな旅の思い出 磯部倅 作品集
- ◇ さびしき野辺 じんちょうげ、 丘のはたけ、 小さな旅の思い出 他
磯部周平 作曲・編曲集
- ◇ さびしき野辺 ゴッドファーザーの「愛のテーマ」、 五木の子守唄、 さびしき野辺 他

12/8 (日) 開演14:00 横浜みなとみらい小ホール

入場料：1000円 お問い合わせ：飯田美知子 ☎ 045-742-7006

レグルス・アンサンブル 第2回演奏会

指揮：清田 泰昭 伴奏：杉山 雅彦・国枝 俊太郎・立花 素美

- ◇ ミサ・ブヴィス パレストリーナ 作曲
- ◇ シャンソン「春」より クロード・ル・ジュヌ 作曲
- ◇ ミサ「ロム・アルメ」(種々の音高による) ジョスカン・デプレ 作曲

12/15 (日) 開演14:00 フィリアホール

入場料：2000円 お問い合わせ：鈴木草夫 ☎ 0468-53-5286

鎌倉女子大学合唱団 第39回定期演奏会

指揮：大槻 義明 学生指揮：高橋 朋子 伴奏：薩摩林 淑子 パップ晶子

- ◇ 魅惑の宵 魅惑の宵 他 Richard Rogers 作曲
- ◇ 現代日本の合唱曲集 三善晃作品集 他
- ◇ 音楽の架け橋 同声合唱のための27の合唱曲集より B.バルトーク 作曲
Hejja, Hejja, Karahejja! 他
- ◇ 名曲の花束 4 madrigali (4つのマドリガル) 他 Z.コダーイ 作曲

12/15 (日) 開演14:00 鎌倉芸術館 大ホール

入場料：900円 お問い合わせ：栃木真由 ☎ 090-4418-2308

☆ お詫び

前号(No. 38 夏号)に於いて、大和混声合唱団の演奏会日時、会場という大変重要なところの記載に間違いがあり、関係各位に多大なご迷惑をおかけいたしました。紙面をお借りしてお詫び申し上げます。今後はこのようなことの無いよう、十分注意いたします。
(カノン編集委員)

「カノン」コンサートガイド掲載申込様式

■申込先：〒220-0004 横浜市西区北幸 2-13-9 北幸ぐうはうすB-401
神奈川県合唱連盟事務所 問合せ先：045-324-8387 (スタッフ常駐：月～金午後)

■用紙は自由です。申込みは郵送にてお願い致します。

- | | |
|----------|-------------------|
| 1. 合唱団名 | 6. 演奏曲目 (作曲者名を記載) |
| 2. 演奏会名称 | 7. 開催日時 |
| 3. 指揮者 | 8. 会場 |
| 4. 伴奏者 | 9. 入場料金 |
| 5. 共演者 | 10. 問合せ先 |

●「カノン」発行月と原稿締切りの年間計画

春号 (4月20日発行) 原稿締切：3月10日
夏号 (7月20日発行) 原稿締切：6月10日
秋号 (10月20日発行) 原稿締切：9月10日
冬号 (1月20日発行) 原稿締切：12月10日

■対象期間は制限有りませんが、掲載は1演奏会について1回です。

《二宮町生涯学習センター「ラディアン」》

9月に入ってから真夏日の続いた今夏の猛暑が少し納まった9月10日、カノン編集担当は、JR東海道線二宮駅北口から歩いて7分ほどのところにある、二宮町生涯学習センター「ラディアン」を訪問しました。

文化振興や生涯学習事業の拠点として、また、まちづくりや地域の活性化を目的に建設された施設で、平成12年7月完成、同年11月3日開館。

「ラディアン」という愛称は町民から募集し、「はれやかな、にこやかな」という英語の radiant から名づけられました。

この場所は、神奈川県園芸試験場の跡地で、梨の原木も残されており、豊かな自然と温暖な気候に恵まれています。

この館の主管は二宮町ですが、運営は二宮町文化施設等振興協会に委託されており、この日、カノン編集担当の対応をして下さったのは、振興協会事務局長 山口 眞弘さんでした。

館内は、ホール、多目的ルームなどの多目的ゾーンと、バリアフリーの図書館ゾーン、その間のラディアンモールからなる複合施設です。

ホールは収容人員 531名(障害者スペース5席、可動席91席、親子室15席、鑑賞室14席)。

コンサートを主目的とするシューボックス型の多目的ホールで、クラシックコンサート、ピアノ・コーラス・ダンス等の発表会、ジャズコンサート、スペイン舞踊など多様な催し物が開催され、それに対応できる設備と機能を備えています。

舞台は、間口14メートル、奥行11.5メートル。音響反射板も、左右・後部・天井と移動し、電動で設定できます。また、舞台の照明も可動式です。ピアノは、スタインウェイと、アポロ。残響は、1.7～1.8秒。

楽屋は、楽屋としてだけでなくダンス・カラオケなどマルチに利用できるマルチルーム1をはじめ3室。他に、和室、保育室、ミーティングルーム、展示ギャラリーなどがあります。

緞帳は、きらめく太陽、青い海、緑豊かな丘陵に囲まれ、町の花の椿をはじめ四季折々に美しい花が咲く「おだやかな二宮町」をイメージしており、このデザインも公募したもので、とても明るく鮮やかな立派なものでした。

お話を伺って、[町民に愛され、町民とともに発展するラディアン] 作りにかかる山口さんを始めとする職員の皆様の情熱を感じました。

会館利用概要

使用料：休日全日 27450円

利用時間：午前9時～午後10時

休館日：毎週月曜日 祝祭日の翌日 年末・年始

使用申込：使用日の10ヶ月前から1ヶ月前まで

住所：〒259-0123 中郡二宮町二宮1240番地-10

電話：0463-72-6911 FAX：0463-72-6914



ラディアン外観

「ふるさとの風になりたい」

＜混声合唱版＞初演のお知らせ

ペアで30組をご招待

神奈川県の記事である「2001年希望の年」で12月に発表された、白井貴子さんの作曲による作品が、普及のために「混声合唱版」として再編曲され、CDと共にその楽譜が配布されましたが、この11月にその普及版が、下記のコンサートで初演されます。興味のある方はぜひ、お出かけください。

場所：横浜みなとみらい小ホール

日時：11月19日（火） P.M 6：30開演

演奏：神奈川県庁合唱団（混声24名）「第27回サロン・コンサート

指揮：吉田孝古麿 ピアノ：岩谷尚幸

御希望の方は、郵便番号・住所・氏名・所属合唱団名を明記の上、FAXでお申し込みください。後日チケットをお送りいたします。

＜申し込み先：PHONE/FAX 045-253-1346＞

カノンNo. 39 秋号編集後記

初めての音楽ホール訪問に参加。初めての執筆。思うことが十分書けないもどかしさ！行間にあふれる私の思い、皆さまに伝わったでしょうか？

（樋口 浄子）

今号より「カノン」のナンバー付与を変更しました（季号を追加）

記事では神奈川県各地域の合唱活動紹介のコーナーを設けました。また県連創設時から県連運営の要として御活躍された副理事長高橋賢次氏を偲ぶ御寄稿を頂きました。

（山口 隆弘）

9月10日二宮ラディアンホールを3名で取材しました。それに先立ち、旨い食事場所はないかと1日コンクール県大会にスタッフとして来場の、二宮しほみコールの方に尋ねると、マリークロードを紹介された。

電話帳に未登録で予約不能だった。取材終了後、桑原先生のお宅の裏をキーワードに12時頃探し当てた残念な事に、当日は昼食時の営業は無く失敗に終わった。

桑原先生の勝手口の外には、大型の猫が長々と寝そべっていた。ドアには猫専用の出入口が設置されていた。長い毛のペルシャかヒマラヤ系な高貴な猫と推測したが真相は？

（清水 稜平）